

校長室からのお知らせ

1月22日号 NO.36

岸和田市立浜小学校
校長 尾野 武志

能登半島地震について

令和6年1月1日の能登半島地震では、230名以上の方が亡くなられたと報道されています。また、避難生活を余儀なくされている方も多数おられます。亡くなられた方々のご冥福と被災された方々の一日でも早い復興をお祈りいたします。

被災された地域の方々は、本当に辛く悲しい日々を過ごされていると思います。当たり前前の生活ができない状況に、不安を抱えられていると思います。

学校では、児童会が主体となり能登半島地震で被災された方々の助けとなるように募金活動を行ってくれました。多数の保護者のみなさまにも、ご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

3学期の始業式に、能登半島地震の話をしました。黙とうも捧げました。学校に来る、友だちに会う、勉強をする、給食を食べるなど、当たり前前の日常は決して当たり前ではなく、とても幸せなことだと感じてほしいという思いを伝えました。

実は幼稚園の始業式でも、「ゆっくりお風呂に入れたり、美味しいごはんが食べられたり、温かいお布団で寝られたり、幼稚園に来ることができたり、お友だちに会えたりすることは当たり前ではなく、とても幸せなことです。」と話をしました。普段なら何かを伝えるたびに大きな声で「はい」と返事をしてくれますが、今回の地震の話をしたときは、どのお子さんも顔が引き締まり、黙ったままでしっかりうなずきながら話を聞いてくれていました。静粛な場の雰囲気をつくってくれ、年齢に関係なく悲しさや辛さは伝わることを感じさせてもらいました。自然災害は、いつどこで起こるかが分かりません。いざという時の備えについて、ご家族で話し合ってくださいようお願いします。